

議会だより

平成28年1月28日発行 発行責任者:壱岐市議会議長 編集:議会広報特別委員会

【主な内容】

ICT 推進特別委員会の取り組み	2
10～12月会議で決めたこと	4
平成27年度 補正予算	5
どえ～な予算のあと	5
委員会レポート	6
一般質問（6人が登壇）	7
議案と審議結果一覧表	10
行政視察に行ってきました!!	11
市民の声	15
議会だよりクイズ	16



「猿岩カウントダウン2016」

ライトアップされた日本奇岩百景・猿岩

タブレット端末の議会導入スタート!!

ICT推進特別委員会

壱岐市議会では、タブレット端末を活用して議会運営の効率化及び議案審議の充実を図るため、タブレット端末販売者のNTTドコモと文書共有システム開発者の(株)東京インタープレイから講師を招き、議会議員及び市長部局を対象に操作説明会を以下のとおり実施しました。

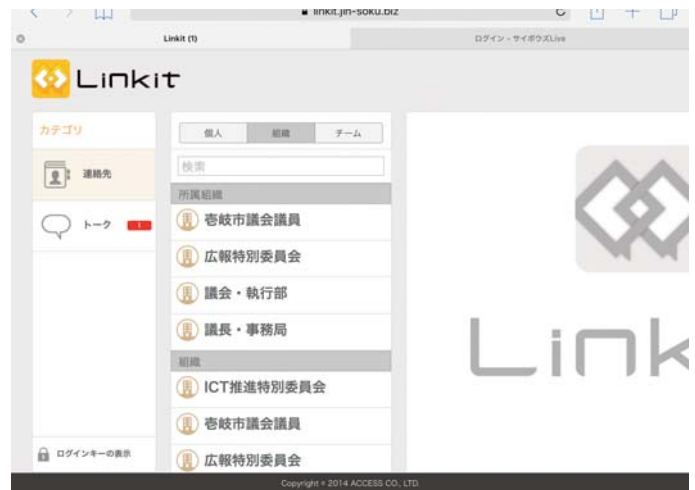
11月18日 アップル社製タブレット端末「iPad Air 2」42台導入
文書共有システム「SideBooks(サイドブックス)」導入

11月19～20日 (株)NTTドコモによるタブレット端末操作説明会

【受講内容】 ・タッチパネル上の基本操作 ・インターネットの閲覧方法 ・位置情報登録から確認の方法
・カメラ機能、メール機能操作 ・ホーム画面設定、Linkit 操作方法 (下図参照)



☆パソコン機能を持ち歩きスケジュール管理も共有



☆会話機能を使って組織間の情報伝達も簡単に郵送の手間も省ける



☆ドコモ担当者からタブレットの操作方法を受講
議員及び市長部局共に足並みをそろえてICT化に取り組んでいく

11月30日～12月1日 文書共有システム説明会

議員及び市長部局を対象に「SideBooks・クラウド本棚」の使い方を受講しました。実際に議会で活用するため議会資料等、共有したい文書をパソコンからアップロードしてSideBooks内に設定した吉野市議会の本棚へ登録し、タブレット端末で閲覧したり、登録された全ての議案から即座に検索することができます。必要な資料だけ集約することもでき、議会一般質問や、地域での意見交換会でも資料を提示することができます。

二種類の検索システム (1/2)

◆横断検索機能

- 本棚画面の下部の「横断検索ボタン」をタップ
- 本棚全体の文書を対象とした検索を行う



検索の対象となるキーワード

- 文書のタイトル
- 文書内のテキストデータ
- 検索用キーワードを文書ごとに設定可能

本棚全体から、必要な文書を探すことができる

- 議案書から「議案名」で検索
- 会議録から「発言者の名前」で検索
- 計画書から「福祉」などのキーワードで検索

二種類の検索システム (2/2)

◆文書内の検索機能

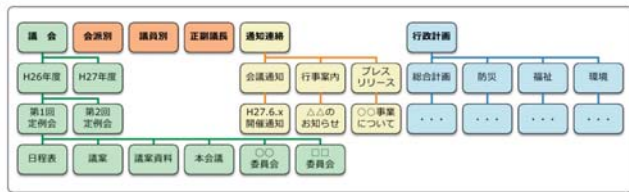
- 文書画面のメニューから「検索ボタン」をタップ
- 「現在開いている文書」の中から検索を行う




検索結果には、「キーワードが登場するページの一覧」と「各ページのキーワード登場数」が表示される。

☆キーワードを入力し検索ボタンで即座に関係資料が閲覧


文書管理の機能 - 実際のフォルダ構成



議会・行政で資料共有



議会事務局と正副議長のみ共有



☆関連する議案資料をフォルダごとに本棚に整理できる



☆実際の議案資料を閲覧し、修正があれば、即座にデータ処理が可能



☆ペーパーレス化はもちろん文書送付等の労務が削減され、過去の議案書類を保管していたスペースの圧縮ができる。



早速、12月会議の本会議で、議員・市長部局がタブレット端末で議案閲覧を行いました。今後の予定として、本年6月にはペーパーレス化90%以上を目指し、地域での議員活動にも活用していきます。



10～12月会議で決めたこと

● 吉崎市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について

平成28年1月から個人番号（マイナンバー）利用開始に伴い、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例を制定するもの。

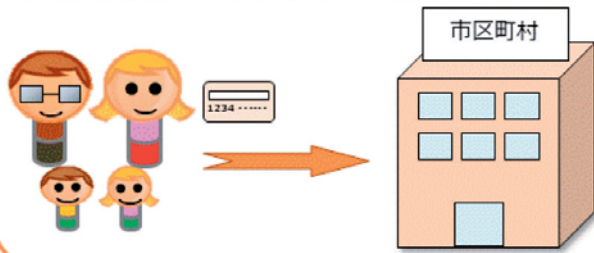
● 吉崎市税条例の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い行政手続における個人番号及び法人番号等を規定する改正、所用の規定の整備を行うもの。

マイナンバーは次のような場面で使います。



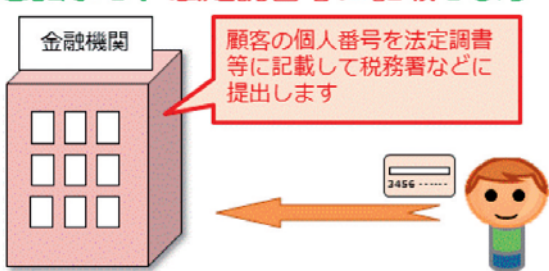
毎年6月の児童手当の現況届の際に
市区町村にマイナンバーを提示します



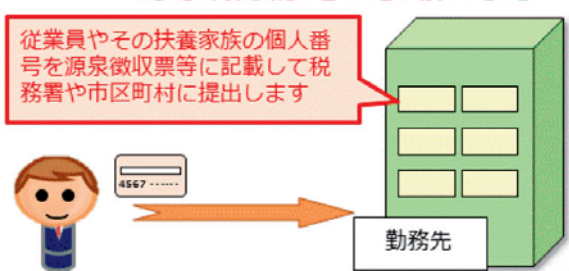
厚生年金の裁定請求の際に年金事務所
にマイナンバーを提示します



証券会社や保険会社等にマイナンバー
を提示し、法定調書等に記載します



勤務先にマイナンバーを提示し、
源泉徴収票等に記載します



国民の皆さまは行政機関や民間企業等へのマイナンバーの告知が必要となります。

● 吉崎市奨学金貸与条例の一部改正について

吉崎市奨学金の貸与に当たり、独立行政法人日本学生支援機構又は財団法人長崎県育英会との併給ができるようにするための改正。

● 吉崎市介護保険条例の一部改正について

介護認定審査会の適切な運営を図るための改正。「14人」を「14人以下」に改めるもの。現在委員数12名。

平成27年度 補正予算

一般会計の10月～12月補正額計	22,782万円
特別会計の10月～12月補正額計	△6,828万円
一般会計+特別会計補正後の予算総額	338億3,960円

●平成27年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	現計予算額	10月補正額	11月補正額	12月補正額	補正後予算額合計	
一般会計	22,291,006	17,543	85,040	125,237	22,518,826	
特別会計	国民健康保険	5,650,256			5,650,256	
	後期高齢者医療	305,629			305,629	
	介護保険	3,335,047			6,870	3,341,917
	簡易水道	957,926			△75,258	882,668
	下水道	453,300			400	453,700
	特養老人ホーム	406,326				406,326
	三島航路	134,084				134,084
	農業機械銀行	146,495			△300	146,195
	合計	11,389,063			△68,288	11,320,775
一般会計・特別会計の合計	33,680,069	17,543	85,040	56,949	33,839,601	

●平成27年度企業会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	内訳	現計予算額	10月補正額	11月補正額	12月補正額	補正後予算額合計
水道事業	収益的収入	187,391				187,391
	収益的支出	162,107				162,107
	資本的収入	3,294				3,294
	資本的支出	29,391				29,391

どえ～な予算があると



● 沓岐産品活用商品開発事業 (新規)

3,000千円

沓岐産の農林水産物を活用した商品開発を行うと共に地域おこし協力隊が開発した商品の情報発信、販路開拓を図る。

● 地域経済循環創造事業 (新規)

30,000千円

勝本町漁協が観光遊覧船(67人乗り・19トン)を建造することに伴い補助を行う。

● WEB・アプリ開発技能者育成・教育事業 (新規・国費10割)

35,400千円

市内に定住して、WEB・アプリ開発技能を担えるよう技術者を育成し、雇用の場を創出する。
会社設立や個人起業につなげて地域での新たな雇用や所得の向上、UIターン者の呼び込みに寄与する。
対象者：市内在住者及びUIターン者

● 農地中間管理機構地域集積金補助金 (新規・国費10割)

124,772千円

担い手への農地の集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構を通じて契約できた地域、当該農地の耕作者及び農地を貸し付けることにより、経営転換・リタイアした農業者に対して協力金を交付する。

地域集積協力金	69,428千円	経営転換協力金	18,000千円
耕作者集積協力金	37,344千円		



委員会レポート



予算特別委員会

12月会議において、総額1億2,523万7千円の追加補正予算を可決した。

主要な項目としては、

- ◎生活保護費5,720万円の増加
- ◎農業費9,688万円
- ◎水産業費は、県の採択要件を満たさず4,873万円の減額補正。
- ◎道路橋梁費は、国の内示額減により3,375

万円の減額補正

- ◎イルカパーク事務所増築工事費130万円の増額補正：今年に入り3頭のイルカが死亡。パーク内の浚渫（しゅんせつ）等検討課題。来年は申年で、猿岩が「日本奇岩百景」に選ばれ、ライトアップも含めて他の観光資源の活用を図るように申し入れがなされた。火葬場管理については、年次的に改修が実施されているが、今後さらに抜本的な改修が必要な事から、今後5年を目途に地元との協議を図る予定である。

総務文教厚生常任委員会

12月会議において、議案76号から80号及び85号について審議し、可決した。

産業建設常任委員会

①産業建設常任委員会

当委員会に付託された議案6件、要望1件を審査した。

議案第86号平成27年度吉崎市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）については、75,258千円と大幅な減額となるが、これは国の補助制度により実施している簡易水道統合事業の本年度内示額減によるもの。

また、これまで永田ダム水の水質改善対策を行ってきたが、効果的な水質浄化に至っていないため、臭気対策設備として活性炭吸着設備を整備しており、本年度完了させ早期運転開始を図るため22,000千円の増額による。

【委員会意見】

全議案を可決し、要望第5号「吉岐～福岡間の通勤・通学航路」運航についての要望は更に慎重な調査に時間を要するため継続審査とした。



永田ダム

音嶋 正吾 議員

Q 白川市政二期目の総括

～満身創痍の市政では～

- ①新庁舎建設問題に於ける行政手法に対し疑念を禁じ得ない
- ②県下ハローワーク管内最下位の雇用環境の改善策が不十分である
- ③合併特例債事業の執行に島内企業の参入機会を与える事が不十分である。何故改善しなかったのか。プロポーザル方式の入札と言えども地元企業と大手企業とのJ・V（共同企業体）提案も可能である。

A 努力はしている

市長

- ①何が疑念を禁じ得ないのか。私は住民投票で民意を尊重した。
- ②市内高校生の地元企業への就職合同説明会、国の産業支援事業の認定を受けた。努力はしている
- ③改善すべき事項もある。今後改善していく

Q 芦辺中学校建設予定地は

～頑迷固陋の組織～

- ①ふれあいグラウンド周辺で進めている建設計画は再考すべき
- ②芦辺中学校建設に関する答申がされたのは平成25年7月で本庁舎を那



芦辺中学校

賀中学校跡地に建設計画があった時である

- ③ふれあいグラウンドは吉岐市の社会教育施設である。既設の2校を廃校にして、環境的にも不的確な場所に建設計画を進めるべきではない!!

A 答申を尊重する

市長

- ①芦辺中学校統合時及び建設検討委員会の答申を尊重して進めている。
- ②議会の承認もいただいて進めている
- ③芦辺町内・PTA等に丁寧の説明をして、理解を得るように努める

教育長



一般質問

市山 和幸 議員

Q プライバシーを守れ

マイナンバーカードを申請する際、市役所窓口には仕切りもなく、周辺の話が聞こえ、手続きや相談を安心してできる状況ではない。又、行政サービスとして証明用写真機を設置して市民の利便性を考えるべき。

A 対応策をとる

市長

現時点での窓口での受付は15枚。プライバシー保護のための仕切り板は考えている。写真は職員にカメラで撮影させる。

Q 主権者教育を徹底すべき

選挙権が平成28年の参議院選挙から18歳以上に引き下げられるが若者の関心が高まるとは限らず、かえって無責任な投票へつながることが懸念される。主体的に選挙に関わるような啓発や、小中学校にも主権者教育が必要。高校生には投票所での選挙事務に関わらせてはどうか。又、校内での期日前投票を考えてはどうか。

A 主権者教育は必要

選挙管理委員長

吉岐高・吉岐商の両高校において先月全校生徒を対象に説明会を行った。今年度卒業生250人に個別に冊子を郵送する。選挙事務・期日前投票については今後検討する。

教育長

生徒が主体的に政治に関心が持てるような主権者教育を今後も進めていく。

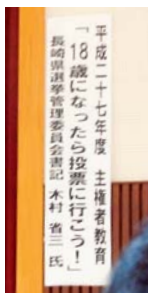
Q 婚活事業に大胆な支援を

婚活事業は単年度ではなく吉岐市の将来への投資と考えて思い切った支援策を図るべき。

A 精力的に取り組み

市長

婚活事業は単年度ではなく、次年度以降も精力的に取り組んでいく。



赤木 貴尚 議員



Q 白川市長 3期目の挑戦について

2期を総括し、成果と課題は
①オンラインワンの吉岐情報発信による観光振興について
②ここ数年、来島者数は53万人前後、観光消費額は97億から74億に低迷だが、対策は。

A 事実なので真摯に受け止め対策を考える 市長

②足腰の強い商工振興について
白川市長2期8年で企業誘致の実績が0件、企業訪問も年々減少。

A 長崎県産業振興財団に相談してお願います 市長

③津波・原発に対応した防災計画
避難行動要支援者名簿の作成と避難計画対策は

A 名簿は作成中 市長

Q 3期目のマニフェストは

市政運営、重要施策は何か

A 大きく4点 市長

①人口減少対策としての子育て支援
②低炭素の島の実現
③実りの島吉岐の具現化
④福岡市とダイレクトにつながる



Q 給食費無料化は「子ども子育て支援計画」に記載されていないが、計画との整合性がないが一時的な思いつきではないのか

A 思いつきではない 市長

財源確保も考えなければならぬ。必要であれば計画書を超えて政治判断する。

土谷 勇一 議員



Q 防犯灯・カメラの設置を

町はずれ・ゴミステーションに防犯灯を。既存の防犯灯の電気代は公民館で負担しているので、電気代のかからないソーラー型を導入しては。又、防犯カメラを庁舎や人通りの多い場所に付けてはどうか。

A LED化を勧める 市長

防犯灯は1、184ヶ所に付いている。ソーラーは高額。防犯カメラは各ターミナル・空港に15台を設置。街部への計画はないが、庁舎については過去に郷ノ浦庁舎で火事もあったので検討しなければならない。

Q 利用しやすい料金体制を

吉岐出身で島外在住者が介護のために月に何回も帰るのは負担が大きい。負担軽減に船賃の補助ができないか。

A 考えていない 市長

航路対策協議会で要望する。船賃の補助は、いまのところ考えていない。

Q 観光地の整備を

①観光地の雑草対策ができていない。ヤギを使ってエコ除草をしては。他の自治体も取り入れてある。試験的に行ってはどうか。
②一支部博物館で展示される写真やポスターをターミナルにも展示して吉岐のPRをしては。

A ターミナルをPRの場に 市長

①ヤギの除草は市としては難しい面があり、人的対応を行う。おもてなし、癒しの場を醸成できる観光地づくりに努めたい。
②ターミナルスペースを活用し、日本遺産情報発信など、早急に対応したい



Q 吉岐市総合計画

前期の目標値の検証は。今回の計画の具体的手法が見えない。達成努力を。

A 目標達成に努力

市長

第1次の検証を行っている。具体策を盛り込むものではない。見直しもしている。

Q TPP大綱について

農水産業を成長産業とし、力強い産業に。米は輸入量に見合う量を政府が買い上げている。補正予算3千億のうち1千億を圃場整備に当てる。吉岐も圃場整備が必要。建設会社にも仕事が変わる対策を。

A 圃場整備は必要

市長

地域で区画整備が必要な田畑があれば進める。強い産業振興に向け努力する。

Q 商工祭り

4町が一同に参加し盛大に開催。今後はJAも含め、観光客を呼び込み外貨を稼ぐイベントに期待する。

A 観光と連携

市長

商工会、農協と協議し、観光客を巻き込んで外貨を稼ぐ商工祭りに賛成。

Q 振込詐欺の事前防止

高齢者を狙った悪質な犯罪が吉岐



虹いろ商工祭

市内で2件発生し、240万円の被害。対策として高齢者宅に振込詐欺撃退装置購入費の一部助成を。

A 詐欺防止装置は効果ある

市長

吉岐に100台試験的に取り付けている。実態を調査し検討する。

Q 3期出馬について

2期8年のマニフェストの達成は。①公務員と民間との給与の格差は。②庁舎建設の責任は辞任に等しい。③交通ビルの進捗状況を3期目の政策に。

A 民間との給料の格差はある

市長

①他の市と比較して高いとは思えない。民間を上げて。②住民投票の結果、民意を反映尊重した。辞任する必要はない。4月に審判が下るだろう。総合計画がマニフェストだ。③交通ビルについては、持ち主の意向に従う。

市山 繁議員

Q 簡易水道と上水道の統合について

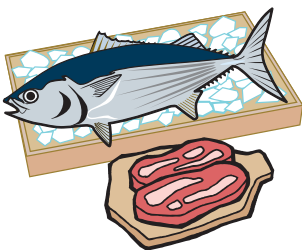
①国庫補助制度改正により、平成29年度から吉岐全体が上水道企業会計に移行される。資産の関係もあるが上水道の管路の総延長は。

②吉岐市の水道管の布設は、旧町時代昭和29年からあり水道管の耐用年数は40年である。減価償却の関係もあり布設年数ごとの管路延長は。③平成26年度の漏水状況は、36.4%であり非常に多量である。現在は優秀な探知機や技術も進んでいる。古いVP管が布設されている管路の重点的な調査を。

A 困難な課題が山積

市長

①現在吉岐市では上水道が一事業と簡易水道が9事業で合計10の水道事業がある。簡水と上水の管路総延長は約970km、導水管約30km、送水管約60km、配水管約670km、給水管約210kmである。②現在VP管として残っているものは口径40mm以上で約130kmである。布設年度別の延長把握は極めて困難である。③漏水については調査も工事も行っているが、調査機器は素晴らしいが過去に布設された吸水管などについては管路が不明箇所が多く探知する場所が難しい。



Q 企業版ふるさと納税の取り組みについて

①政府は企業版ふるさと納税2016年度の導入を目指している。この際他市より先端を行くべきであり。各団体の協力と英知の結集を。②この制度は各市も興味と期待感を持っている。お返しも個人向けとは違う企業には思い切った企画が必要であり当年度に備えて研究されたい。

A 吉岐独自の取り組みを目指す

市長

①企業版ふるさと納税制度は一つめの創生事業として計画した事を企業に協力を引き出し、お願いする事が大事である。②お礼品目については、他市町村を調査し吉岐に合うものにして考える事が大事である。今後、漁協・農協・地元商店・個人等のさまざまなアイデアをいただきながら、是非、他市町村にないものを作っていきたい。

呼子 好議員



一般質問

議案と審議結果一覧表 (10月～12月会議)

開催月	番号	議案内容	付託委員会	本会議採決結果	
10月	議案第72号	第2次沓崎市総合計画の策定について	省略	10/22	可決
	議案第73号	財産の無償譲渡について	省略	10/22	可決
	議案第74号	平成27年度沓崎市一般会計補正予算(第6号)	省略	10/22	可決
11月	議案第75号	平成27年度沓崎市一般会計補正予算(第7号)	省略	11/27	可決
12月	議案第76号	長崎県市町村行政不服審査会の共同設置について	総務文教厚生	12/18	可決
	議案第77号	沓崎市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	総務文教厚生	12/18	可決
	議案第78号	沓崎市税条例の一部改正について	総務文教厚生	12/18	可決
	議案第79号	沓崎市奨学金貸与条例の一部改正について	総務文教厚生	12/18	可決
	議案第80号	沓崎市介護保険条例の一部改正について	総務文教厚生	12/18	可決
	議案第81号	川田院地区圃場整備事業に伴う字界変更について	産業建設	12/18	可決
	議案第82号	財産の無償譲渡について	産業建設	12/18	可決
	議案第83号	渡良B辺地(変更)、原島辺地(変更)、渡良A辺地、大島辺地、長島辺地、箱崎本村辺地、湯岳辺地、筒城辺地及び池田辺地に係る総合整備計画の策定について	産業建設	12/18	可決
	議案第84号	平成27年度沓崎市一般会計補正予算(第8号)	予算特別委員会	12/18	可決
	議案第85号	平成27年度沓崎市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	12/18	可決
	議案第86号	平成27年度沓崎市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	産業建設	12/18	可決
	議案第87号	平成27年度沓崎市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	産業建設	12/18	可決
	議案第88号	平成27年度沓崎市農業機械銀行特別会計補正予算(第2号)	産業建設	12/18	可決
要望第5号	「沓岐～福岡間の通勤・通学航路」運航についての要望	産業建設	12/18	継続審査	



行政視察に行ってきました!!

議会運営委員会行政視察

平成27年11月4日(水) 14:00~16:00

視察先: 行橋市議会 福岡県行橋市中央一丁目1番1号

議場の音響設備について

1. 設備改修の概要: 地上デジタル放送への完全移行に伴い老朽化した音響機器やカメラを更新。

◇設備改修を行うため、4つの問題点

①議場音響設備改修

音声や映像のクリア化を図るための整備が必要。

②傍聴用ディスプレイ設置

傍聴者席が、質問者の後方なので表情(顔)が見えないため。

③ボタン採決システム(見送り)

起立採決や無記名投票の負担軽減を図る。

④インターネット配線(見送り)

ライブ中継や、録画配信を行うことで情報公開を進めるため。

※当初、4件全てを整備する予定だったが、最終的には財源的な内容等を鑑み、①及び②を整備。

2. 設置した主な機器等:

マイクユニット(53台) 会議システム制御ソフト・パソコン等一式

メインスピーカー(2台)・サブスピーカー(4台)・傍聴用スピーカー(4台)

残時間表示モニター(1台)・傍聴用モニター(3台) 回転式カメラ(3台)

音声赤外線送受光ユニット(8台)

3. 設備改修にかかる経費

○音声設備及びカメラシステム機器カメラ・パソコン・各種機材 13,241,900円

○設置工事費(これまで使用していた配線の撤去及び設置) 3,758,100円

○消費税 850,000円

合計 17,850,000円

4. 運用経費等:

議場音響設備保守点検委託料は、年額410,400円

定期点検年2回(6月・12月の定例会月の前月の、5月・11月) 不具合があれば随時対応

◇本会議等の情報公開状況について

○議会基本条例では、市民に分かりやすい議会活動をめざし、審査の過程、資料等の情報公開を行う。議会は、秘密会を除き、全ての会議を公開する内容であった。

○今後の情報公開について:平成27年12月定例会より、本会議の動画配信(録画したもの)について、YouTubeを利用して、実施予定とのこと。その他、



公開できる情報については、市議会のホームページを利用し、積極的に発信していく予定とのこと。



【2日目】平成27年11月5日(木) 14:00~16:00

視察先: さつま町議会

鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1565-2

議場の音響設備について

1. 議場システムの更新について:平成26年3月の新庁舎建設の折、10年程度使用してきた音響システムを更新。(パナソニック製品を採用) ◇事業費=完成事業費18,000千円

2. 機器について:①音声関係:マイク(36台)有線から変更して、赤外線マイク(コードレス)

録音主(マイク音声)・副(議場全体)SDカードに録音
※マイク使用は、本人が操作。操作ミスの場合に議場全体の音声を拾う集音マイクを設置。

②議場パソコン等 一式

③カメラ(3台) 議場内に3つのカメラ設置

④映像関係

ハードディスクプレイヤーに録画。映像用ディスプレイ(1台)

⑤ライブ中継

配信はライブ中継(生中継)のみ。民間の無料サービス(YouTube)利用

3. その他

○維持管理経費(運用保守):鹿児島県町村組合のコンピューター動産保険にて対応する。

◇本会議等の情報公開状況について:議会基本条例では、市民に分かりやすい議会活動をめざし、審査の過程、資料等の情報公開を行う。議会は、秘密会を除き、全ての会議を公開する。

議会運営委員会・特別委員会・全員協議会等は委員長の許可が必要。

【委員会の所見】

1市1町の議場及び議場の音響設備、議場の作り、音響設備については、使いやすく、分かりやすい簡単な操作と赤外線という電波方式採用によって、トラブルも少なく、安心して使用できる。壱岐市でも、最新の音響映像システムを整備し、視聴する市民に生中継や、録画放送による議会情報を発信し、市民に開かれた議会内容の成果を反映できるように、早急な整備が急がれる。また、常任委員会等の情報公開については、市民に分かりやすい議会活動をめざし、公開できる情報については、積極的に取り組まれ、見やすく、聞きやすく分かりやすい環境づくりが大切だと感じた。



総務文教厚生常任委員会

平成27年11月24日(火) 14:00~16:00

○視察先：社会福祉法人 山口県コロニー協会

〒747-1232 山口県防府市大字台道522番地

○昭和31年10月、結核回復者数名で任意団体として開拓者の心と働く喜びを基本理念とし、可能性の追求・連帯と協力・豊かな社会をめざして事業を展開。「コロニー」とは、長期療養者・心身障害者などを集め、治療や保護をして、社会復帰のための訓練をする。次の3施設を運営。

①山口コロニーワークセンター

○施設入所支援 定員60名、夜間に常時介護を必要とする方に、日常生活上の支援。

現在の入所者数54人 2人部屋×22室1棟、2人部屋×8室1棟

○生活介護 定員34名、日中に常時介護を必要とする方に、入浴・排泄・食事等の介護、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援や、創作活動・生産活動の提供。

○生活訓練 定員6名、知的障害または精神障害のある方に、入浴・排泄・食事等に関する自立した日常生活を営むために必要な訓練、生活等に関する相談及び助言などの支援。

※入所要件：風呂、トイレ等が自立でき、お金の管理ができる人

県内外は問わない。(島根県からの入所者もいる)身体と知的の併症の方が半数程度いる。

・職員数：10人(管理者、サービス管理責任者、栄養士、嘱託医と生活支援員6人)

・入所希望者の状況及び今後の見込み：待機者はいない。(入所判定委員会等はなく、逐次対象者の状況を判断し、入所の可否を決定している。)

・問題点や課題等：入居者の家族の面会が少ない。結構手のかかる入居者についても市が支援区分をあげてくれない。(加算措置が受けられない。)

②ワークショップ山口

○就労継続支援A型(雇用型) 定員30名、雇用契約に基づく生産活動の機会の提供、知識及び能力向上のために必要な訓練などを行う。

○就労継続支援B型 定員10名、生産活動などの機会の提供、知識及び能力向上のための訓練を行う。

※主な事業として、印刷所を経営、良いときは年商5億円という時期もあったが、昨今の不況また官公庁からの発注の激減により現在は2億円程度。

大型印刷所並みの設備(オフセット印刷機等)を船舶振興会等の補助を受け導入されている。

③山口コロニーキャンパス

○就労移行支援B型 定員44名、生産活動などの機会の提供、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行っている。

○就労移行支援 定員6名、生産活動や職場体験などの機会の提供を通して就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練、



就労に関する相談や支援を行っている。

○就労移行支援B型 山口営業所(キャンパスよしき) 定員10名



【2日目】平成27年11月25日(水) 13:30~16:00

○視察先：社会福祉法人 明日へ向かって

〒813-0025 福岡市東区青葉2-11-9

○昭和56年、たちばな共同作業所をつくる会が発足され、昭和59年に無認可作業所たちばな共同作業所として開所。その後事業拡張にあたっては、対象者のニーズに応える形で実施しているため、国県の補助を待っている間に合わない、借入金とスポンサーを見つけ土地・建物や資金調達を行い進めているとのことである。次の施設を視察させていただいた。

①小規模通所授産施設「ワークショップたちばな」：アクセサリや雑貨、焼き菓子を作り販売。

②菓子工房「ぷぷる」：就労継続支援B型施設として、オリジナルパウンドケーキや老舗和菓子店の如水庵の協力を得て米粉を使ったオリジナル焼き菓子「はかたサブレ・はつこい」の製造。

③生活介護事業所「Myself」：コースターやキャンドルづくり、またオリジナルで企画した数々のレクリエーションで体をいきいき動かし、障害者はもちろん職員も笑顔で過ごされていた。

④すくらむアート工房「こころの色」：カタログ販売による物販活動、ガムランやギターを使った音楽活動により生活介護事業を実施

⑤カフェ「オリジナルスマイル」：就労継続支援B型事業所として、カフェを経営。日替わりメニューやパスタが人気で、若い主婦の憩いの場となっている。元居酒屋を譲り受け改修したもの

・問題点や課題等：職員の確保に苦労している。夜勤等については別手当とし、やりたい人に手を挙げてもらいシフトを組むこととしている。各事業所とも手狭になってきている。

【委員会の所見】

社会福祉法人山口県コロニー協会については、国県及び市や民間の補助金を計画的に活用し、施設や設備の整備をされている。防府市からの補助は、国県が基準額の3/4に対し、1/8となっているとのこと、上限額の設定はなく手厚く行われていると感じた。社会福祉法人・明日に向かってについては、どの施設も入所者・職員の笑顔が絶えず楽しそうに過ごしているのが印象的であった。職員は20代の方が殆どのようにみえた。こうした状況がご家族に安心感を与え入所者が多いのではないかと感じた。

また、当法人は、地域とのつながりを大切にされており、事業に賛同されるスポンサーからの資金提供(寄付金)がある。行政の支援を待っている、ニーズにすぐ対応できないとのことであるが、福岡だからできることだとも思う。壱岐市においては理解者はあってもなかなか資金援助までは難しいのではないかと思う。



行政視察

産業建設常任委員会

日時：平成27年11月24日(火) 15時00分～

場所：NPO 法人 土佐観光ガイドボランティア協会

講師：観光ガイド 根木 勢介

●NPO 法人 土佐観光ガイドボランティア協会概要 生涯学習と生きがいを目的に集まった会員が、それぞれの協会の役割を分担し、接待の心で高知の“おもてなし観光”の振興に貢献。

設立：平成元年設立、平成22年1月NPO法人に移行。会員数：136名(男68名・女68名) 年齢層：30代～80代 入会資格：土佐観光大学修了生 会費等：3,000円/年

●活動内容 観光客からの申し込みにより、高知城、桂浜、龍馬の生まれたまち記念館周辺などでガイドを行う傍ら、高知県観光コンベンション協会等の要請により、各種イベントに出勤。

①龍馬の生まれたまち記念館観光案内所 ②高知城観光案内所 ③天守、本丸御殿などのガイド ④桂浜・日曜市観光案内所等での臨時観光案内所

●龍馬の生まれたまち記念館 龍馬の生まれたまち記念館は、坂本龍馬の人間形成の基盤となる家族やまちを紹介し、近代国家へ尽力した龍馬を顕彰するため、平成16年3月誕生地・上町に開館した。展示館機能と公民館機能を合わせ持つ、全国的にも珍しい施設となっている。展示館では当時のまちの様子や歴史、龍馬誕生から脱藩までを映像や模型などで紹介。

●観光ガイド(まち歩き) 実際にガイドの方に同行していただき、「龍馬が生まれたまち記念館」の展示室及びまち歩き「龍馬誕生コース」のガイドを受けながら巡回した。

・徒歩移動のみ・所要時間90分・歩行距離約1.7km

コース：龍馬の生まれたまち記念館→坂本龍馬誕生地→龍馬郵便局→水丁場→日根野道場跡→河田小龍塾跡→鏡川(高知城遠景)→水天宮→近藤長次郎邸跡→才谷屋跡→龍馬の生まれたまち記念館

●委員会所感 ボランティア協会員は100名を超えているが、年齢構成は高齢者が多く、時間的ゆとりがある世代がガイドの主力として活躍。幅広くいろんな角度から個人で研究されている印象を受け、料金を払ってでも案内していただいた方がより詳しく歴史に触れることができると感じた。

ガイドの必要性を感じた点として、石碑等しかなく、詳しい場所が明らかにされていないなど、現在は別の用途として利用されたり、跡地としての案内や看板の取り付けを土地・建物の所有者が拒否されているため、個人で巡回しても「まち歩き」として、インパクトに欠けてしまう点がある。壱岐市においても、「まち歩き」コースやその案内板が設置され、ボランティアガイドもそれなりに育成されているが、利用者からは質の向上などスキルアップを図る必要性も求められている。「まち歩き」には、インパクトが必要であり且つボランティアガイドとして高いパフォーマンスが要求される。幸いにも壱岐には観光資源が豊富にあるので、今後はボランティアガイドの更なる育成(スキルアップ)と地元を巻き込んだ「まち歩き」に必要なインパクト(食の提供等)の創出両面に力を入れることで、更なる観光振興を図ることが出来る。

日時：平成27年11月25日(水) 12時00分～

場所：(株)四万十ドラマ(道の駅とおわ)

講師：(株)四万十ドラマ 代表取締役 畦地 履正



●(株)四万十ドラマ概要

設立：平成6年11月1日

資本金：1,200万円

従業員：22名 事業内容：物品販売、商品開発、道の駅とおわ運営、通信販売、観光交流等 受章・認定：農林水産省「立ち上がる農山漁村」認定、高知県「高知県地場産業大賞」受賞 経済産業省「ソーシャルビジネス55選」認定、総務省「地域づくり総務大臣表彰」優秀賞受賞



●道の駅とおわ 四万十川中流域に位置。工夫を凝らした道の駅で地産地消、交流、地域振興拠点。

四万十の自慢は風景と人であり、四万十とおわのオリジナルにこだわり、とおいところでも来ていただけるような道の駅。四万十川流域で採れたものを、自分たちで売ることがを原点に、とおわのオリジナル商品は四万十川の素材を使った商品の開発、加工、販売、流通を一貫して行っている。「ここにしかないもの」をめざし、四万十川に負担をかけないものづくりを実践。

●とおわ市場 生産者の顔が見える直売所「とおわ市場」は、地産地消の野菜や加工品が並んでいる。中心となるのは、「十和おかみさん市」の皆さんで、安心・安全な野菜や加工品を出荷。地元にある素材は、昔ながらの手わざから生まれた逸品ばかりで、オリジナル商品を開発。開発にあたっては、地元の生産者、加工業者、消費者のみなさんを巻き込み、新たな魅力をもった商品をつくり、素材そのままの味を大切に心がけている。

●とおわ食堂(おかみさん市バイキング) とおわ食堂は、十和地域の素材をメインに四季折々のメニューを提供する食堂スタイル。生産者がわかる安全な食材が使われている。テラス席からは、料理と風景の両方を同時に楽しめる。毎週水曜日は、食堂の定休日を利用して「おかみさん市」と題したバイキングを地元のご婦人方が運営。多い日には400人利用。(大人1,000円、小人500円)

視察当日は水曜日で、委員会も昼食にバイキング料理を楽しんだ。平日に加え雨も降る中でも、外に行列ができるなど終始食事に訪れる人が絶えない状態であった。

●新聞ばっぐ 新聞レジ袋の普及に努め、「新聞ばっぐ」の作り方レシピを販売。新聞バッグインストラクターが全国に約400人おり、普及啓発活動のために養成講座も実施。世界的ファッションブランドからも注目され、商品化。環境保全にもつながるように、売上げの一部を高知県がすすめる「協働の森」森林10haの管理に充てている。

●委員会所感 一番印象的だったことは「ビジョンがしっかりしている」ことと地元の素材にこだわって「ブレない」商品開発。加えて、しっかりと計算されているため、新しい産業が起き雇用が生まれ、生産者と協働で生産体制が構築。遠く離れていても、いいモノといいヒトが存在すれば、そこは単なる道の駅ではなく印象をうけた。会社の基本理念でもある「最後は人づくりですよ」という言葉に説得力を感じた。

壱岐市においても、地域素材をどうしていくのか、しっかりとしたビジョンがあれば最終的にヒト集めができると感じた。この会社は地域間・団体間と提携し、お互いのノウハウを生かし、高度なノウハウを生み出す事業を展開している。本市も各企業関係者を含みリバーセミナー(セミナー研修)を受講し、中山間での産業の創出、商品開発方法のレクチャー、実際の生産現場を目で見て、生産者の生の声を聞くことで、自分たちの地域で何が出来るかを学ぶことから始めてみてはどうかと考える。まずは、地域資源に対する見方や考え方を変えることが、産業振興につながるキッカケづくりになると感じた。



行政視察

広報特別委員会

広報特別委員会では、二次元バーコードを活用した広報誌について視察研修を行いました。

①人口減少対策について情報発信

②二次元バーコード活用した広報誌について

11/10 10:00～ 霧島市議会

●霧島市の概要

平成17年11月7日に1市6町で合併して霧島市が発足。日本で最初の国立公園指定の地域で人口は126,842人、面積603㎡である。鹿児島県のほぼ中央に位置し、陸・海・空の交通体系が整った南九州の交通の要である。企業、大学が立地し今後もさらに誘致できる見込みである。議会議員定数は旧市町で120人だったのが三期目に26人で現在に至る。常任委員会は広報広聴常任委員会を含む5委員会がある。



●議会だより編集について

役割と権限について、まずひとつは議会だよりの編集、一般質問の誤字脱字等の修正。もうひとつが「議員と語る会」の開催にかかる運営。「語る会」では開催場所・日時・回数等の開催に関する全ての権限を持ち、参加者の質問を各常任委員会へ調査依頼して取りまとめる。二次元バーコード導入経費は約8,000円のソフトを購入し、事務局がバーコードの切り貼り作業をして、一般質問の紙面に議員ごとに二次元コードをつける。それをスマートフォンで読み込めばユーチューブで録画を見ることができる。アクセス数は平均して1議員当たり30件。また、「議員と語る会」での要望もあり、市民へ開かれた議会を目指して議場システム改修を行いタブレット端末を導入し55型モニターと連動して電子投票を行えるようになった。写真や資料を事前に提出してもらいタブレットとモニターを連動して表示する。

●委員会所見

霧島市では、広報広聴常任委員会として、ある程度の権限をもつことで開かれた議会を目指して広報活動、広聴会を運営されている。特に、議会だよりについては若い世代に興味を持ってもらうためSNS（ソーシャルネットワークサービス）を駆使していつでも議会の様子が見れるよう実践されている。

行政と議会が同じ目的意識でまちづくりに取り組んでいる結果が人口増につながっていると感じた。そのための広報委員会の役割は、市民の目線で必要な情報の発信に努めていかなければならない。今後、タブレット端末の導入をきっかけとして情報伝達の重要性を認識して広報活動を充実させていきたい。

壱岐市へ ようこそ!!



本市にも各市町村から来島され、互いに行政施策等の情報交換を通じて、壱岐の活性化を行っています。平成27年の後半に来島された議員団は、以下のとおりです。

期 日	議 会 名	会 派 等	人 数	議 題
10月15日	行橋市 (福岡県)	建設経済委員会	8	めざせ日本一！ いきいき食の原産国構想について
10月16日	射水市 (富山県)	市民同志会 幹事長	1	古事記・魏志倭人伝と観光プランについて 文化財・自然保護における壱岐市景観条例の制定経過について
10月21日	龍郷町 (鹿児島県)	経済建設委員会	6	年間観光人口の推移・民泊の現状 海女を売り出す水産業の現状
10月27日	伊那市 (長野県)	平成クラブ	4	通年議会について 導入時の経過 現在までの運用状況や問題点

自分たちが選んだ議員の方々がどんな仕事やどんな意見を発表されたか興味を持って読んでいます。たまには繰り返し読んでいます。 64歳・女性

11月はお祭りがたくさんで楽しいです。“郷ノ浦ふれあい広場”では、なわとびで優勝してすごくうれしかったです！ 8歳・男性

マイナンバーについてももう少し詳しく書いてあったらいいと思います。亡くられる方が多く人口が減りつつあります。若い人に負担がこないように今のうちから吾岐をもちたててほしいです。 63歳・女性

先日、“ねんりんピックアップラリー”のプレイイベントに参加しました。来年の本番が楽しみです！県内外の方に吾岐の魅力が伝わればいいなと思います。 44歳・男性

子ども議会はいいことだと思います。第3日曜日は清掃の日があったように思います。市内をみんなできれいにしていきたいと思っています。 74歳・男性

「議会だより第47号」クイズ
応募者よりいただいたご意見ご感想です。
(応募者数33人中 正解者33人)

市民の声



福岡の専門学校に通っています。将来吾岐に役に立つ大人になり帰ってきたいです。なので吾岐頑張って下さい。 19歳・女性

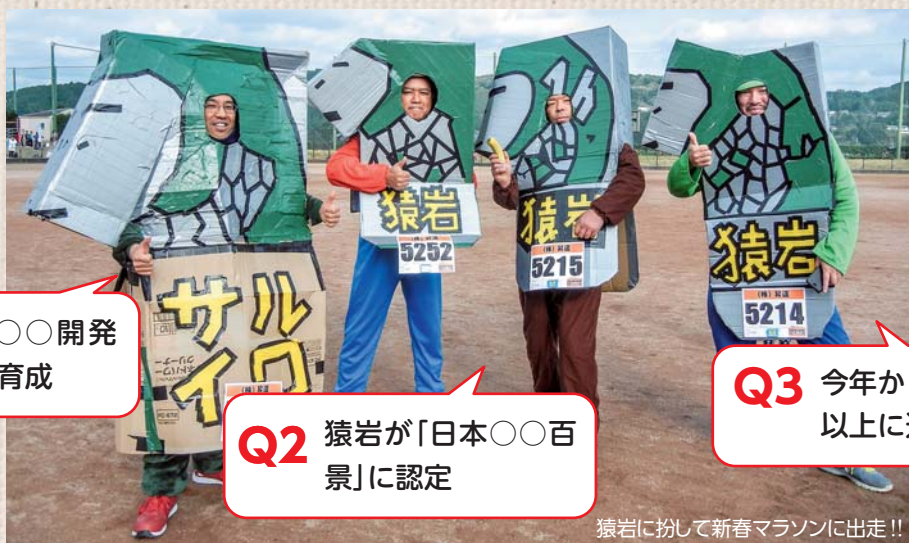
いつも拝見させて頂いています。吾岐の知らない現状が分かって読んでいくうちに楽しくなります。空き店舗での有効活用なにかできたらいいのですが…。 33歳・女性

私の大好きなこの島のために議員のみなさん頑張ってください。 13歳・女性

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆様のご応募お待ちしております!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



猿岩に扮して新春マラソンに出走!!

Q1 WEB〇〇〇開発
技能者の育成

Q2 猿岩が「日本〇〇百
景」に認定

Q3 今年から〇〇歳
以上に選挙権

前回クイズの答え

①みらい ②ナンバー ③地方

前回クイズの当選者

岡部 裕様 坂口すみえ様
辻口久美子様 豊増 春陽様
松本 力様
おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。
議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお
書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお
贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

壱岐市勝本町西戸触182-5 壱岐市議会事務局 宛

《しめきり》 平成28年2月29日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

呼び
好

平成二十八年の輝かしい新春
をご家族お揃いでお迎えのこと
と存じます。
市議会としても市民皆様の付
託に応えるべく、決意を新たに
致しております。
これからの壱岐市の課題は、
雇用対策の充実と、人口減少に
歯止めをかけることです。
昨年「第二次壱岐市総合計
画」を策定し、向こう五年間の
まちづくりの基本方針と計画を
定めたところであります。また、
「壱岐市まち・ひと・しごと地
方創生人口ビジョン・総合戦略」
を策定し、地方創生を推進する
こととしております。
市民皆様のご意見を尊重しな
がら、壱岐市の課題解決に向け
全力で取り組んでまいります。
最後に、市民皆様のご健康と
ご多幸を祈念申しあげ、新年号
の編集後記といたします。

議会広報特別委員会
委員長 赤木 貴尚
副委員長 呼び 好
委員 市山 勇二
土谷 和幸
久間 輝男
田原 進

お知らせ

壱岐市ホームページ

<http://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会
のインデックス(見出し)を検索すると、市長行
政報告および議員の一般質問の音声を生で聞く
ことができます。また市議会会議録は、議会事
務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活
班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞
い等の金品を送ることや、暑
中見舞い・年賀状などの挨拶
状や有料の広告は禁止されて
おります。市民みなさまのご
理解とご協力をお願い申し上
げます。壱岐市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県壱岐市勝本町西戸触182-5

TEL:0920-42-1111

FAX:0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <http://www.city.iki.nagasaki.jp>



壱岐市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。